

共催：早稲田大学ファイナンス稲門会

日本リアルオプション学会 「価値創造のイノベーションと戦略」研究部会

協賛：早稲田大学ファイナンス研究センター

テーマ：『新しい医療技術を患者に届ける為には、何が求められる？』

～今、求められる「医療レギュラトリーサイエンス」とは？～

講師：松本 徹 氏 早稲田大学 重点領域研究機構
医療レギュラトリーサイエンス研究所 招聘研究員
博士（生命医科学）、MBA

司会：小林 孝明 氏 NRI（株）野村総合研究所 上級研究員

日時：2016年9月26日（月） 18:00 - 19:30（受付開始 17:45～）

場所：野村総合研究所 会議室、千代田区丸の内 1-6-5（丸の内北口ビル9階）

交通アクセス：http://www.nri.com/jp/company/map/nri_honsha.html

要旨：

再生医療、DNA診断、ロボット手術、人工臓器、予防医療など、医療技術の発展が日々ニュースや新聞等を騒がせている。医療技術の発展により、昔は治らなかった病気が診断・治療できるケースが増えている。また、患者の身体により負担が少ない低侵襲治療も向上している。医療は将来どのように変わるのであろうか？

医療を事業機会ととらえ、新規参入する企業も多く、ベンチャーによる医薬品・医療機器の開発も盛んである。ただし、開発した新しい医療技術の普及が、思うように進まないケースもみられる。医療は他の産業とは異なる特性を有すると感じている。医療技術が発展することと、それを社会が受け入れることは別ではないであろうか。新しい医療技術の普及において、その技術のみではなく医療政策や経済性など、社会的側面を考えてみたい。

新しい医療技術を患者に届ける為の研究分野として、医療レギュラトリーサイエンス（RS）が注目をされている。新しい医療技術や開発企業を評価する、また、私たちが生活の中で受ける医療に理解を深めるために、RSについて紹介する。さらに、事例として「使い捨て医療機器の再使用問題」を検討する。

- ・ 参加費： 無料 （お一人100円 程度の飲み物代カンパをお願いします）
- ・ 定員： 50名（予定）
- ・ 研究会への参加申込み先／お問い合わせ先：
日本リアルオプション学会ホームページ <http://www.realopn.jp/>の「公開研究会のお申し込みはこちらへ」の申込みページからお願いいたします。

- ※ 本研究会は、学会員以外の方にも公開されております。参加をご希望の方は必ずお申込みをし、ご登録ください。定員になりましたら、お断りする場合がありますこと、ご了承ください。
- ※ セミナーに関するお問い合わせは学会（03-3551-9893または、info@realopn.com）へお願いいたします。会場である野村総合研究所には問い合わせをしないようお願いいたします。
- ※ 今回の会場は丸の内北口ビル9階を予定しております。案内板の指示に従い、直接9階へお越しください。なお、できるだけ遅刻の無いようお願いいたします。